

会 議 録

会 議 の 名 称	平成28年度 第2回美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会
開 催 日 時	平成28年7月11日(月) 14時00分 開会 15時30分 閉会
開 催 場 所	しゃきっとプラザ会議室2
出 席 者 氏 名	横山委員、城委員、石川委員、吉江委員、村田委員、端委員、水島委員
欠 席 者 氏 名	信太委員、田村委員
事務局職員職氏名	小室政策主幹、森久保計画担当主査
議 題	1 開会 2 美幌版総合戦略の効果検証について 3 オホーツク総合振興局の動きについての情報提供 4 今後について
会議の公開又は 非公開の別	公開
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開とした場合)	—
傍 聴 人 の 数 (会議を公開した場合)	2名(報道機関)
会 議 資 料 の 名 称	<ul style="list-style-type: none"> ・レジュメ ・美幌版総合戦略の効果検証方法について ・美幌版総合戦略に係る事業実施結果報告 ・市町村連携によるオホーツク統一イメージの形成・発信プロジェクト(仮称)
会議録の作成方針	<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した全部記録
	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録
	<input type="checkbox"/> 要点記録
その他の必要事項	

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p>司会：横山会長</p> <p>小室政策主幹</p>	<p>定刻になりましたので、平成28年度第2回美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会を開催します。本日の欠席委員を報告します。信太委員と田村委員が欠席という報告を受けています。また、吉江委員が少し遅れると連絡を受けています。</p> <p>では、早速議事に入ります。本日は、事前に配布させていただきました美幌版総合戦略に係る効果検証についてと、オホーツク総合振興局の動きについての情報提供が主な内容となっています。</p> <p>事前に配布された資料について、お忘れの方はいらっしゃいませんか。では、事前に配布された資料に基づきまして、議題に入らせていただきます。</p> <p>ではレジュメの1について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>はい、皆さまお疲れ様でございます。本日はお忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>会長の方からご説明のありましたように、本日は美幌版総合戦略の効果検証について進めてまいりたいと思っております、特に平成27年度実施の国の交付金対象事業の検証について、皆さんにお願いしたいと考えております。</p> <p>事前にお配りしている様式につきましては、国から示された様式でございます。平成27年は総合戦略の第1年次目ということもあり、国からどのような様式によって実施結果報告を求められるのかということも、今年度になってから判明したところでありまして、この様式により評価を求められる委員の皆さまも、戸惑いはあるかと思いますが、外部有識者の評価をいただくことになっておりますので、ご理解とご協力をお願いします。</p> <p>なお、今回お配りした様式の中には、町の単独事業につきましても掲載しているところですが、先ほども申し上げましたとおり、平成27年度は総合戦略の第1年次目ということもあり、事務局としても、どのような事業評価にすべきか試行錯誤しているところであり、次年度以降の事業評価につきましては、アクションプランの施策で示しているK P Iを基本として、事業評価をしていきたいと考えておりますのでよろしくをお願いします。</p> <p>それでは、早速皆様方から、事業の評価についてお聞きしたいと思います。様式の「⑥外部有識者からの評価」のうち、左側の「事業の評価」についてであります。</p> <p>事前に配布いたしました「効果検証方法について」にも記載させていただきましたが、この項目につきましては、「地方版総合戦略のK P I達成に有効であった」か、もしくは「有効でなかった」か、この2択となっているところでございます。薄い黒塗りとなっている国交付金の対象事業が、再掲を除くと12（※13事業が正しい）事業となっておりますが、そのうち「有効とは言えなかった」評価の事業があれば、ご意見をいただきたいと思っております。時間の関係上、皆さまの意見は一つ一つお聞きしたいと思っておりますが、この「事業の評価」については、⑤と⑦の担当グループが記載した評価を踏まえて、皆さまから「有効ではなかった」とされた事業がありましたら、ご意見をいただければと思っております。よろしくをお願いします。</p>
<p>横山会長</p>	<p>はい、ありがとうございました。事務局から説明のあったとおりであります。まずは有効でなかったものについて、意見をもらうということでしょうか。</p>
<p>小室政策主幹</p>	<p>「事業の評価」についてまずはご意見をいただき、その後意見について</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹	は一つ一つお伺いしたいと思います。
横山会長	一つ一つの内容について、説明をいただいた方が皆さま分かり易いと思うのですが。そうでないと答えづらいですし分かりづらいかなと思います。
小室政策主幹	分かりました。まずは、「新規就農者確保・育成等総合支援事業」につきましては、K P I が3つありまして、これは担当グループにより設定しております。最終的な実績値につきましては、「アスパラの冬季出荷量」は目標値の半分ほどになってしまいました。担当グループとしては、その他の指標を含めて「地方創生に相当程度効果があった」という評価をしています。実績値を踏まえた⑦の事業の今後についてということでは、「追加等更に発展させる」として、実績値では下回っている部分はあるものの、本事業は継続して取り組むとして、冬季アスパラガスの更なる増加を目指し、事業の強化をしております。これらは、先ほどの述べましたように、担当グループが評価したところでありますので、委員の皆さまの評価・意見をいただきたいと思ひます。
横山会長	どうでしょう、まず一番目。
城委員	<p>すいません、総体の話なのですけども、⑤の実績値の事業効果なのですけども、ここの基準はどうなっているのですか。例えば、3番目の「森林認証材活用促進事業」でいくと、指標値は5, 800立米で、実績値は5, 371立米と指標値は下回っているけれども、「相当程度効果があった」となっています。一方、下から2番目の「特産品等研究開発推進事業」の指標では、開発件数3件で実績値も3件となっていて、目標を達成して「相当程度効果があった」という評価になっています。</p> <p>これを見ますと、K P I 数値を達成しててもしていなくても、「相当程度効果があった」と同じ表現になっているので、ここはどういったところに基準を置いているのですか。</p>
小室政策主幹	確かに、3番の森林認証の関係では、目標値を下回っているにも関わらず、「相当程度効果があった」という評価をしています。同じく8番は、目標値を達成して「相当程度効果があった」ということとございますが、指標は達成できなかったけれども、地方創生にどうだったかを考えますと、3番ですと継続することで森林認証の認証区域を拡大していくということで、効果があったと担当グループにおいて解釈しています。つまり、K P I を下回ったからといって、地方創生に効果がなかったということにはなりません。
横山会長	事前配布された「美幌版総合戦略の効果検証方法について」の3の(2)において、事業評価においては自己診断を行って、選択方式で1～4の中から選ぶということになっています。これは美幌町だけの基準なのか、国の基準なのかどちらですか。
小室政策主幹	国の様式になります。「相当程度効果があった」については、目標値の7～8割でということですので、担当グループとしてはそう判断したということになります。
城委員	ということは、やはり指標値と実績値の比較ということですね。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹	そうですね。1番目ですと、アスパラの冬季出荷量は半分程度しかいかなかったけれども、新規就農者や女性農業体験者受入数が達成できているので、総体的に見て7～8割は達成できている判断されたということです。
横山会長	よろしいですか。では他の方。
村田委員	私も総体的な話になりますが、どういう経過でこういった結果になったのかが分からない。
横山会長	そうですね、そのため、私としても、説明を付けた上の方が分かりやすいかなと思って促していました。
村田委員	それで、アスパラの出荷量が半分程度であるのも、できなかった理由はなんなのかを説明してもらわないと、評価ができない。結果だけで考えると、役場で考えたものに追随するしかない。つまり意見の出しようがないことになります。どうしてこういう結果になったのか、どういう経過で目標に達しなかったのか、それがないと次の段階にいても、今年はできなかったけれども、来年はできるのか確約がとれないし、本当にやっていけるのかが分からない。そこを示してくれないと、意見ができない。
横山会長	自分としても、村田委員が言われたことと同じような意味で促したつもりでしたが、言葉が足りなかったと思います。内容が分からない中で、この実績値だけでどう判断したらいいのかなと疑問に思った部分があったものですから、可能であればその説明をしていただいて、委員の皆さまどうですかという聞き方、進め方がいいと思います。どうでしょうか。
広島総務部長	はい。1番目につきましては、指標②と③は指標値に対して達成された数値が上がってきているのですが、アスパラの冬季出荷量については、気象などの関係で予定をしていた出荷量が確保できなかったということで、実績としては1, 271kgとなっているところです。通常的气象条件において指標を設定したので、温度の関係で上回る年もあれば下回る時もあります。
村田委員	気象で半分しかできなかったという理由と、できたんだけども売れなかったということが出荷量ですからあると思います。そういったところが、実績値だけでは分からないので、そういうのを詳しく説明をして欲しいと思います。
横山会長	これで1番の関係はどうでしょうか。「有効であった」か「有効でなかった」か。
小室政策主幹	ここは意見も一緒をお願いしていこうと思います。一つ一つ、評価と意見を含めてお願いします。
吉江委員	私も疑問というか教えてもらいたいところがあるのですが、実績額として総額が出ていて、1番目でいえば23,728,729円で、これは1の事業に費やした金額、支払った金額ということですよ。
小室政策主幹	そうです。平成27年度にかかった金額です。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
吉江委員	<p>自分は資金を扱う箇所でありますので、この資金がどういったことに使用されたのかに興味があります。先ほどのどういったことをやったのということに関係してくるのですが、結局、これだけのお金を入れて、どのような効果があったのかが重要だと思っているのです。そうすることによって、指標値に対して実績値はこうなったのは、これだけ資金投入してこうした効果が出たからだと分かれば、これは継続していく方がいいですねとか、そこから評価や意見が出てくるものだと思います。このお金は行政として自ら広告に使ったとか、団体に委託に出したとか、そこは見え方が絶対いいと思います。そこをないがしろにして、効果があったとかなかったとかは判断は難しいと思う。</p> <p>それと、検証方法の3の（2）の選択方式となっていますが、その中の④で「実績値が本事業開始前より数値が悪化している」となっていますが、その事業開始前の数値が分からない。指標値は書かれています、例えば1番の指標①は、2, 400kgとなっていますが、昨年はいくつだったのとなる。昨年の実績がもし2, 400kgだったら、実績値は半分になっているので、資金を投入した意味は何だったのかということになる。そのため、資金を含めて評価することによって意味があるのではないかなと感じます。検証していくには、従前の数値も必要です。女性研修者も、昨年4人で今年も4人だったら、資金投入してもしなくても4人なのと感じてしまう。比較しないと評価のしようが無いと思います。以上です。</p>
小室政策主幹	<p>申し訳ないことに担当グループではないので、細かな数値はお示しできなくて。</p>
広島総務部長	<p>1番の実績総額については、みらい農業センターが行っている事業で、その運営に係る経費となっていて、総額としてこの額がかかっています。交付金だけでは賄いきれないものもありますので、それを一般財源で支出して、行ったものでございます。新規就農では機械や農場での研修をしたり、また女性の研修生を受け入れる経費ですとか、アスパラの実験や普及費用など、全てひっくるめた費用となっています。そのため、指標①のアスパラの部分でいくらといったものではありません。農業センターで行っている事業を総体してかかった経費が2千3百万円ほどということです。事業実施の前年度の数値につきましては、アクションプラにもここにも示されていませんでしたので、いま持ってこさせます。</p> <p>(→森久保計画担当主査離席)</p> <p>事業実施前の数値につきましては資料によりお答えをさせていただきたいと思います。総体として、どれだけの費用でどれだけの効果があったのかについて評価をいただかなければならないのですが、事業申請をしていく中では事業申請前の実績は示した上で目標を立てていますので、それに基づいて説明させていただきたいと思います。</p>
吉江委員	<p>一昨年の農業センターの事業では、国の支援はあったのですか。</p>
広島総務部長	<p>交付金は入っていません。農業センター自体は町の施設ですので、町で運営費を出しています。農協さんからの支援も一部ありますが、一般財源です。</p>
吉江委員	<p>一昨年の総額と27年度の総額はどう推移しているのか、その比較も必要かなと思います。一昨年よりも資金投入額が上がっているのか下がって</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
吉江委員	<p>いるのか。それは何かをやったから上がったのか。</p> <p>農業センターとしては事業の内訳というのはできているのですか。女性農業者の関わる部分でいくら掛かったのかといった仕分けはできているのですか。この場ではトータルでもいいですが、現場としては整理したものを持っていたほうがいいと思います。</p>
広島総務部長	<p>ここのK P I ではアスパラの出荷量となっていますが、そうした整理ではかかった経費は出てくると思いますが、このK P I に係った部分となると難しいと思います。</p>
吉江委員	<p>アスパラの部分はあまり金額が掛かってなくて、新規就農者や女性研修者の部分で2千2百万もかかりましたとなったら、それはちょっと待つてとなると思いますので、今まではトータルでよかったと思いますが、今後はそうした金額と効果の関係を含めていくと、整理が必要かなと思います。</p> <p>（森久保計画担当主査戻り）</p>
広島総務部長	<p>アスパラの出荷量でいきますと、26年度の実績は1,041kgとなっていて、それを27年度のK P I では2,400kgまで上げますよという計画になっていました。前年比230%の増を目指していて、品種の変更も含めて収量アップを目指していたところでもあったのですが、結果として1,271kgということで、おそらく、品種の改良も上手くいかなかった部分と、日照などの気象の関係に左右されて、この数値になったのかなと思います。</p>
吉江委員	<p>先ほどもいいましたが、この場ではトータルでもいいと思いますが、農業センターの方で仕分けされたものを持っていて、それが次に活かせるようなものになっていけばいいと思います。また、新規就農者数もここでは1名ですけれども、では昨年は何人なのか、女性研修者は何名受け入れたのか、そこを知りたいと思います。</p>
広島総務部長	<p>新規就農者は昨年はゼロです。女性研修者受入数は2名という実績でした。</p>
吉江委員	<p>指標値の4名から比べるとピッタリですが、昨年の実績値と比べるとまた異なる評価が出てくると思いますが、そののところを私たちは知りたいです。</p> <p>もう一つ、⑤と⑦の書き方が異なりますよね。どのような判断なのかということですが、実績値としては未達になったということになると思うのですが、⑦はそれを踏まえた上での自己評価になると思います。事業効果としてあったものを⑦でどうしていくかを記載するのではないかなと。</p>
広島総務部長	<p>美幌版総合戦略の検証方法の3の(2)が⑤の評価の仕方となっていますが、4つの選択肢から選ぶことになっています。1番でいけば、7～8割の効果があったということで、そうした評価を付けているのですが、具体的にそれでいいのかという判断は難しいです。この選択自体は、国の様式そのものですので、マッチしないところも出てくると思いますが、評価方法としてはこれに基づいて行っていることをご理解いただきたいと思います。</p>
横山会長	<p>新規就農者と女性研修者受入数は達成されていますから、あとは上の出</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	荷の部分と合わせて相当程度効果があったということですね。
小室政策主幹	<p>こうした様式が来るということは、私たちも今年になって知ったということもありまして、またどういった検証方法がいいのか試行錯誤していたところもございます。皆さまが言われたように、前年度の比較する実績があつて、こうした経緯によってこの実績となつて、地方創生にこうした効果があるというものを求められているということで、そうしますと、今の我々の資料では対応できず、申し訳ないことに国の様式をそのまま使ってしまったので、今までの口頭での対応となつてしまっています。国への報告を控えていますので、急いでいるという中で申し訳ありませんか、口頭で対応できるものはさせていただきたいと思っておりますが、全てを対応しきれるかどうかが。</p>
横山会長	<p>それか、アクションプランも事前に配布していただいておりますが、その施策のK P Iに同じような考えの指標がありますので、それを参考するということもできます。それに説明をしてもらいながら評価していくのはどうでしょうかと思うのですが。</p>
村田委員	<p>事業の評価ということだけであるなら、実績がありますので、「有効であつたか」と「有効ではなかつた」の2択ですので、それは皆「有効であつた」と評価すると思ひます。逆に言えばそう評価するしかないのですが、次の意見となりますと、詳しい内容を聞かない限りは、先ほどもいったように、アスパラ一つにしても、内容が分かれば、品質の改善を目指してくださいとかいった意見が書けるようになる。今のままでは、意見のいいようがない。言いづらいです。</p>
広島総務部長	<p>多くの委員の方から、27年度に行った実績について、可か不可かといわれれば可としかないけれども、意見を求められるようになりますと、前年度の実績とどういった経過と原因が必要だということで、それを踏まえて、31年度までにどういった改善が必要になってくるか、そうしたものが必要ということですね。それは整理をさせていただいて、一覧表にしていく中で、ただ実績額を含めて整理していきますが、K P Iごとの金額の仕分けというのは難しいので、できるものだけでやらせていただきたいと思います。比較表を作成させていただき、委員の皆さまの時間が取れば、再度ご審議していただきたいと思います。もしお時間とれない場合は、資料を送らせていただきますので、そこで意見を記載して返送していただき形を取っていききたいと思います。8月には国に報告しなければならないという事情がありながら、遅くなりましたことにはお詫び申し上げます。どちらにせよ、もう少し分かりやすい資料を作成して、皆さまに評価をいただくという調整をさせていただきたいと思ひます。いかがでしょうか。</p>
村田委員	<p>構いませんが、反対の意見が出たらどうしますか。意見を羅列するだけならいいのですが、推進委員会としてまとめて出さなければいけないのであれば、それは困るのではないかなと思ひます。</p>
広島総務部長	<p>この会を再度開催できればその場でさせていただきますが、委員の皆さまの負担もありますので、難しい場合は別の方法で調整させていただきたいと思ひます。夜であれば集まりやすいということであれば、そのように設定していくことも考えます。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
石川委員	評価については、ある程度の数字が出ていますので、その中で選んでいくしかないと思います。意見については、今この場で意見を聞いて、それを取りまとめるのはどうでしょうか。
広島総務部長	ただ、意見を言うにも、その詳細や過程がこの一覧表の中では分からないので、言うことができないということでしたので。
石川委員	そうなりますと、事業の内容から説明をしていかなければならないし、専門ではないので総体的な意見しか出てこないのではないかと思います。具体的な意見は難しいのではないかと思います。
横山会長	その詳細に係る部分を、事務局で取りまとめて委員の皆さまに送るということですので。
広島総務部長	我々としても、皆さまから意見をいただければと思いますので、よろしくお願いします。
小室政策主幹	悪かった部分含めて、何かしら意見をいただければと思います。
横山会長	先ほどから数名の委員の方から評価そのものに対してご意見があったということは、内容についても何かしらの意見をお持ちだと思いますので、整理して再度送るということでご了承をいただきたいと思います。また、せっかくですので、ここも調べて欲しいなどのご要望があれば、この場で言うだけでいいでしょうか。それを事務局で調べて送りますので。いかがでしょうか。
吉江委員	事業がたくさんありますが、同じ事業が出てくるのですが、これは为什么呢。
小室政策主幹	これは再掲ですね。次回お示しするときは、まず、国の事業で行った部分を抜粋して、重複部分は省いて分かりやすくしてお渡しします。
城委員	中には、K P Iが入っていないのに、実績値を出して効果があったという評価を付けているものもある。そこ合わせて資料の整理をお願いしたい。
小室政策主幹	分かりました。いずれにせよ分かりやすい資料にしてお配りします。
広島総務部長	網掛けとなっている部分が、国に報告しなければならない事業になっているのですが、白い部分が町の単独事業で、基本的にはどちらも検証しなければならないと思っています。ただ、急ぐのは網掛けの部分ですので、とりあえずこの部分だけを抜き出して一覧を作成させていただきます。白い部分につきましては、来年度の予算に間に合うような形で整理させていただきます。29年度の予算に向けて、職員に対し委員からこうした意見があったよとお伝えできるように整えていきたいと思っていますので、とりあえず網掛けの部分と白い部分を分けて、検証作業をさせていただきます。
城委員	白い部分に国支出金となっているものがありますがこれは。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p>広島総務部長</p> <p>村田委員</p>	<p>これは地方創生以外の補助金です。紐付き補助金ですね。</p> <p>質問があるのですが、いいですか。2番の⑤で相当程度効果があったとしているのに、⑦で事業内容の見直し（改善）としていて、目標を達成したのに見直し・改善というのはどうなのかなと。普通は追加等発展ではないのかなと思います。現場の考え方もかもしれませんが。</p> <p>次に、8番の特産品について、3件の内容について教えて欲しいのと、⑦の方針で見直しではなく発展ではないのかなと思います。</p> <p>14番のがんばる商店街ですが、指標は商店街の往来者数となっておりますが、これは店舗リフォーム事業だったと思いますので、そのことに触れられていないので、どうしたのかなと。</p> <p>次の15番の商店街活性化は、ランチとスイーツなどの美めぐりフェスタのことで、事業の継続をするとは聞いていますが、その財源は確保されているのかなと。</p> <p>17番のプレミアム商品券については、意見なのですが、いつも同じ人が購入しているのではないかなと。体力ある人が並んで、同じ人のような気がしますので、もっと工夫して広く購入できるような、場所だったり条件を限定するなど、したらどうかなと。逆に19番の多子世帯への商品券発行事業は、効果があったのに予定どおり終了とあるものですから、これを17番とリンクさせて続けた方がいいのではないかなと感じました。</p> <p>次、基本戦略2の移住事業なのですが、移住体験者のアンケートはとっているのかと、美幌に移住するとすればどんなものがあれば移住しやすいのかの意見があれば、それを教えてもらいたいですし、それが他の事業に影響してくると思います。</p> <p>それと、基本戦略3の8番子育て支援で、2人目3人目の子どもに支援する内容でしたが、対象者数は出ているのですが、世帯数を教えてください。</p> <p>基本戦略4の7番の住宅リフォームについて、これは28年度で終了するはずだったと思うのですが、事業の継続という方針になっていますので、やっていけるのかどうかの確認をしたいなど。</p> <p>網掛けの部分については以上です。</p>
<p>横山会長</p>	<p>他にご質問はございますか。</p>
<p>広島総務部長</p>	<p>今質問いただいたなかで、一つ、住宅リフォーム事業を続けられるかどうかは、ここでは27年度の事業評価をするところですので、制度としては5年間と言うことで28年度で終わって、29年度以降どうするかについては結論が出ていませんので、そういった表現になるかもしれませんが、全ての回答ができないかもしれませんが、整理して資料を送付させていただきたいと思います。</p>
<p>横山会長</p>	<p>よろしいですか。では、レジュメの3番目、「オホーツク総合振興局の動きについての情報提供」ということで、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>森久保計画担当主査</p>	<p>はい、A4横の資料を添付させていただいています。市町村連携によるオホーツク統一イメージの形成・発信プロジェクト（仮称）とあるのですが、先日、オホーツク総合振興局の副振興局長が来庁されまして、土谷町長と地方創生に係る意見交換を行いました。地方創生となっていました。一番の目的はこのことだそうで、管内の18市町村が連携して、これ</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
森久保計画担当主査	<p>まだにない大規模なプロモーション活動を行い、「オホーツク」全体のイメージアップ・浸透、ブランド形成を目指すことを考えているということでした。平成29年度に実施するそうで、地域づくり総合交付金という北海道単独の補助事業があるのですが、この補助金を活用して行おうということです。オホーツク総合振興局は補助金を出す側ですので、18市町村がお金を負担しあってこの交付金に申請することを振興局は考えています。十勝が19市町村あるのですが、上手くまとまって十勝ブランドを形成していきまして、イメージ戦略も上手です。しかし、北海道全体で見れば、漁業はオホーツク地域が1番ですし、農業は十勝に次いで2位ですけども、林業も1位ですので、こうした素晴らしい資源があるのに、統一イメージやブランドが弱いせいで、売り出していけないという現状になっていると。そこで、こうした発信プロジェクトを行っていきこうというものです。</p> <p>展開として、(1)の大規模・統一的プロモーションということで、日本及び海外へPRしていきましようとなつています。そこから下の矢印にいきまして、イメージの浸透・ブランド化を図るため、知ってもらい、行ってみたい・買ってみたい、住みたい・すばらしいということで、イメージの浸透やブランド化を形成する。そこまで行きましたら、各おのおので個別の事業に引き継いでいきましようという展開になっています。</p> <p>これらを実施するための取組として、右側の2プロジェクトに向けた取組として、オホーツクイメージ戦略推進委員会の設置を目指しています。各市町村からプロジェクトリーダーを選出となっているのですが、委員会の構成メンバーとして、各市町村職員、産業界ということで商工会議所、農協、漁協ほか、あとは有識者やマスコミとなつていきまして、かなり大きな組織になると思います。この産業界となりますと、この場にいる委員の方々も関わってくるのではないかと思います。今回情報提供という形でお知らせさせていただきました。</p> <p>推進委員会の設置については、今年の8～10月にかけて行われる予定だと聞いています。どういった要請がくるのかまだ分からないのですが、こうした動きがありますので、皆さまにも協力をお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。</p>
横山会長	はい、ありがとうございます。このことについて聞きたいことなどありますか。
城委員	オホーツク認証ブランド制度はどうなっているんですかね。このメンバーとほとんど同じですけど。また似たような組織を立ち上げるんですかね。
小室政策主幹	こちらは大きめにPRしていきたいというものみたいです。
城委員	認証ブランド制度もお金かけていますよ。主に物産の関係ですが、統一のブランドマークを作ったり、表彰式やったりと、結構色々やっている。
広島総務部長	おそらく、それら含めて情報発信が足りないということなのだと思います。
城委員	今あるものを発展させればいいと思いますけどね。新しく組織を立ち上げなければ補助金が当たらないとかの世界ですか。そうすると、認証ブランド制度が宙ぶらりんになると思う。農業や消費者なども一堂に会してやっているんですが。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
端委員	オホーツク認証ブランド制度の大学から派遣されていた方が、この6月で退職されたんですよ。それでこの制度をどうするかが宙ぶらりんになっていて、それと関係があるんですかね。
城委員	今までの中軸が抜けていますので、それを片付けるのを先にしないと、これは進まないんじゃないかな。こちらのプロジェクトでも物産に触れているので、同じことをやることになる。
横山会長	ブランド制度は経済部、今回のは地域創生部ということなのですかね。
広島総務部長	そこの連携等含めどうなっているのか分かりませんが、8～10月にかけて推進委員会を立ち上げたいとしているので、行政側になんらかのアクションがあると思います。そのときにブランド制度を包括してやった方がいいのではないのですか、といった意見の内容をお伝えしておきます。また、実際にできるかどうか不明です。行政がいいよと言っても、参画してもらおう商工会議所や農協、森林組合などが必要ないと言われると、行政だけ行っても意味がないので、どうなのかと思います。
城委員	どちらにせよ、混乱しないようお願いしたいですね。
広島総務部長	オホーツクという名前を売っていくということですね。
横山会長	十勝ブランドには間違いなく負けていますから、それを追い抜け追い越せということで。
吉江委員	上手だよ。あるときは帯広で、あるときは十勝ブランドで、使い分けや戦略が上手だね。そういった意味ではオホーツクもやってやれないことはないよね。
広島総務部長	そうですね。これをやって、さらに美幌町単独で情報発信を強めても構わないことも確認しています。
小室政策主幹	ブランド認証では確か美幌町では2商品だったと思いますが、オホーツクショコラティエと、カレーだったと思います。オホーツク流水カレーですね。
広島総務部長	その認知度も低いと思う。
端委員	新しい統一マークを作ったばかりなのに、どうするのかな。
広島総務部長	含めて、向こうには伝えさせていただきます。
横山会長	では、最後の今後についてを、事務局から説明をお願いします。
小室政策主幹	今後についてでございますが、先ほど出た部分を整理させていただきまして、再度、評価・意見を求めることができるような形にまとめますので、ご協力をお願いしたいと思います。総合戦略の推進については、新聞報道などで出ていますが、高校生の伝道大使と、PR名刺について、アクションプランに基づいた事業として、少しずつ進んでいるところでございます。

